

京都工芸繊維大学 産学連携協力会 正会員入会申込みの流れ

正会員の年会費は10,000円となっています。産学連携協力会の総会・交流会を実施するなど会員企業と大学との交流経費などに充てさせていただきます。
正会員入会の手続きは次のステップ1～4のとおりです。

STEP1

📄 入会申込書のご提出

入会申込書の送付先は、次のとおりです。

〒606-8585
京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地
京都工芸繊維大学 研究推進・産学連携課 産学・地域連携係 行き

※可能な限り企業の皆様のご意向を把握した上で、ニーズに添った情報提供をさせていただきますので、入会申込書裏面のアンケートに、ご回答をお願いいたします。

STEP2

✉️ 請求書の郵送

入会申込書を受領しましたら、代表者様宛ての会費請求書を発行します。
(連絡担当者様宛てに郵送します)
※次年度以降については、年度始めに案内します。

STEP3

🏦 年会費のお振込み

会費請求書が届きましたら、次の口座に年会費1万円の振込みをお願いします。

金融機関：京都銀行 下鴨支店
口座番号：普通預金 3258270
口座名義：京都工芸繊維大学
産学連携協力会
経理担当者 白旗 純一
(しらはたじゅんいち)

※キャッシュコーナー(ATM)からお振込みの場合は、会社名等が明確になるように記載願います。

STEP4

✉️ 領収書の郵送

入金を確認しましたら、代表者様宛ての領収書を発行します。
(連絡担当者様宛てに郵送します)

京都工芸繊維大学 産学連携協力会 入会のご案内

大学と共に地域産業界の更なる発展を目指して



発行 / お問い合わせ先

京都工芸繊維大学 研究推進・産学連携課
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

tel:075-724-7933 / fax:075-724-7030
E-mail:corc@kit.ac.jp
<https://www.liaison.kit.ac.jp/>



令和3年12月発行

 KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

京都工芸繊維大学 産学連携協力会の会員特典

研究者や事業担当者と大学教員との交流



総会・交流会の実施

例年6月に総会及び交流会を開催します。交流会は、会員企業の研究者や事業担当者と大学の教員との意見交換の場となっており、学長、副学長等も出席します。



京都松ヶ崎・産学連携フォーラム

対象を会員企業限定として、ホットな話題等をテーマとした講演会、大学教員の有する技術情報の紹介など、会員企業と大学との連携を目的としたセミナーなどを開催します。



研究室訪問・施設見学

会員企業からの要望に応じて、研究室訪問や施設見学を実施しています。最新の研究設備をご覧いただくとともに、大学教員が自らの研究内容や成果などを説明します。

科学技術に関する相談や研修会の実施、共同研究等の推進



技術セミナー

技術者の方のスキルアップを目的とした研修やセミナーを開催します。会員企業には、先行案内や会員価格の設定などの優遇措置があります。



シーズ紹介動画の閲覧

会員専用Webページを開設し、本学教員が展示会やセミナーで行ったシーズ紹介の様子を掲載しています。



科学技術相談

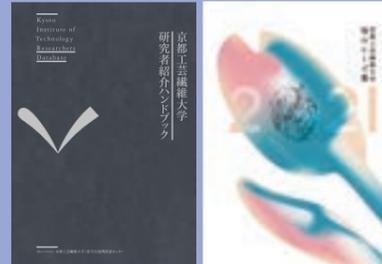
製品の開発過程で生じる問題等に関して、大学の研究シーズにより解決策を探ります。専任のコーディネーターを配置し、皆さまからの相談に応じています。

産学公連携に関する情報発信



企業のニーズに合わせた情報発信

大学で開催される産学公連携のイベントや、科学技術に関する研修会などの情報をメールで案内します。定期的な広報誌の発送を通して、大学の取り組みをいち早くお届けします。



知のシーズ集等の発行

本学においてこういった基礎研究が行われているのか、また応用研究がどの程度まで進展しているのかをわかりやすく紹介しています。

学生との交流の機会の提供



キャリアサポートイベントへの参加優待

会員企業の人材採用に係る広報の場を提供することを目的として、学内で開催するキャリアサポートイベントへの先行案内を行います。3月の合同企業説明会については、参加費の割引を行うなどの優待措置を設けています。



学生のインターンシップ参加促進

会員企業の実施するインターンシップ事業に参加した学生に対し、QUOカードを支給することにより、インターンシップへの参加を促します。

京都工芸繊維大学 産学連携協力会とは

本学は、学術研究の盛んな京都の地にある国立大学として、人材育成や課題を解決する取り組みなどを通じて地域に貢献するとともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界ないし全国的な教育研究活動を展開しています。イノベーションを創出しグローバルな視点で産業基盤を牽引することができる「TECH LEADER」を養成する中核的工科大学を目指しています。

このため、大学の基本姿勢、研究、教育、社会貢献、運営に亘って「理念」を制定し、中でも社会貢献に関しては、「優れた人的資源と知的資源とを十分に活かし、地域における文化の継承と未来の産業の発展に貢献するとともに、その成

果を広く世界に問いかけ、国際社会における学術文化の交流に貢献する。」と謳っています。この理念を具現化する取組みの一つとして、地域社会、特に地域産業界の更なる発展を目的として、「産学連携協力会」を設置しています。

産学連携協力会では、産・学・公の研究者や事業担当者の交流、科学技術に関する研修会の実施、科学技術相談や共同研究等の推進、産学公連携に関する情報発信、会員企業のインターンシップや就職に関する情報を在学生へ提供することなどを主な事業としています。

かつて本学は、平成8年(1996年)に設置した同協力会の前身である「京都工芸繊維大学地域共同研究センター事業協

力会」を中心として、大学と共同研究し得る研究開発型企業との産学連携事業を推進してまいりましたが、国立大学が法人化するなど大学を取り巻く社会情勢が変化してきたことから、大学と企業とのお付き合いを従来の研究を中心とした活動に加えてインターンシップなどの教育事業も含めた総合的な産学連携を展開していくべきであると捉え直しています。

このことから、産学連携協力会についても、大学と共に社会貢献を果たしていただける全ての企業の皆様に広くご参加いただけるよう会員企業特典の見直しを行なっています。別紙の産学連携協力会の会則をご確認の上、ご入会いただければ幸いです。

産学連携協力会 会員企業主な業種

